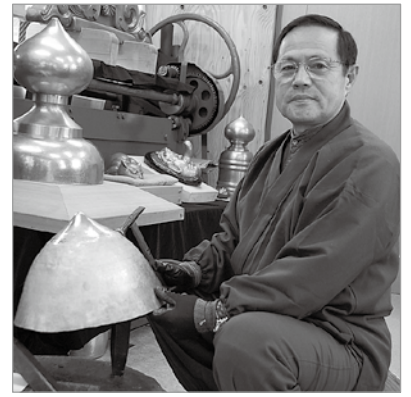


じんじゃじいんどうぼんやねこうじ 神社寺院銅板屋根工事

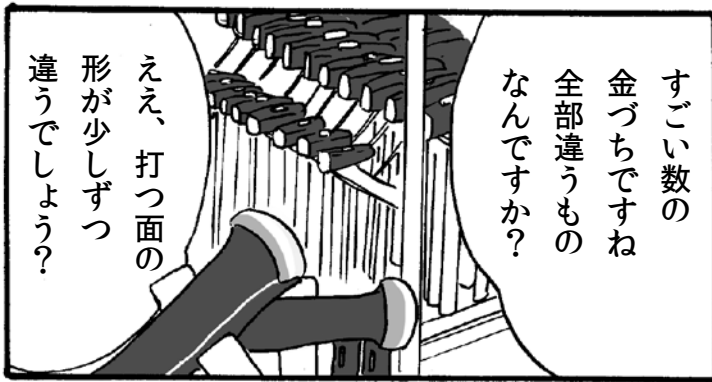
平成
13年度
認定



せきどひでみ 関戸 秀美 さん

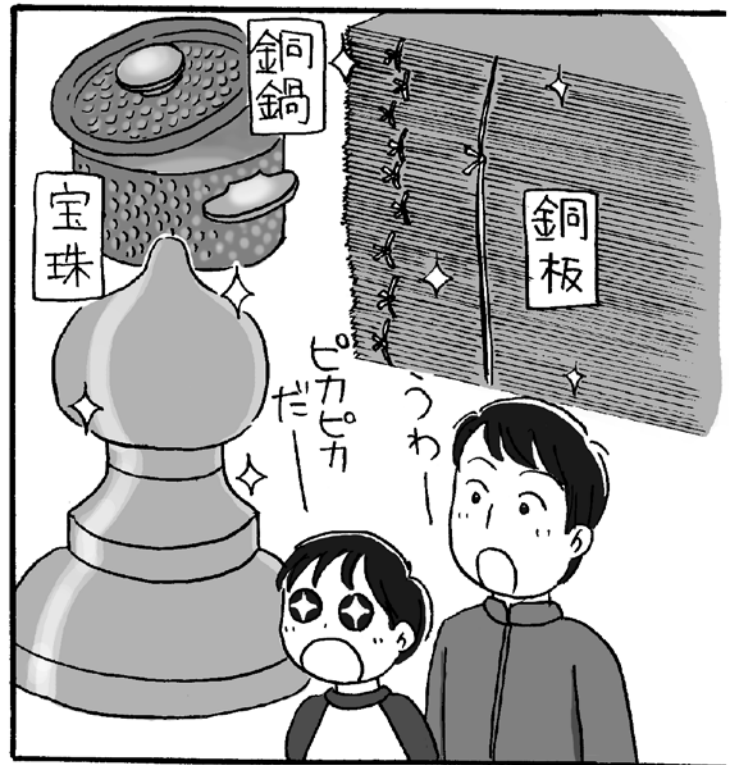
赤坂迎賓館、鎌倉鶴岡八幡宮など全国の歴史的建造物の修復に携わる、伝統的「鍛金」「彫金」技術の匠。





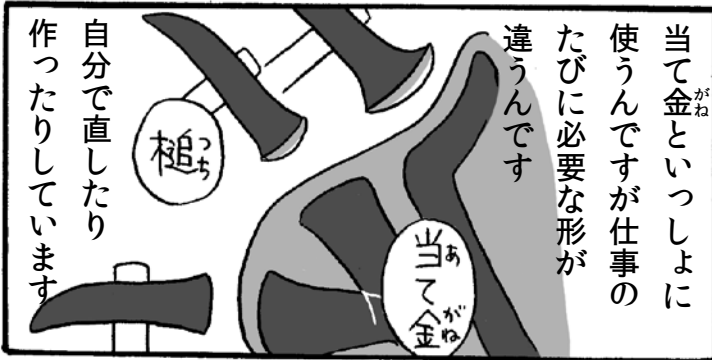
ええ、打つ面の形が少しずつ違うでしょう？

すごい数の金づちですね全部違うものなんですか？



銅鍋
宝珠
銅板

ピカピカ
ピカピカ
うわー

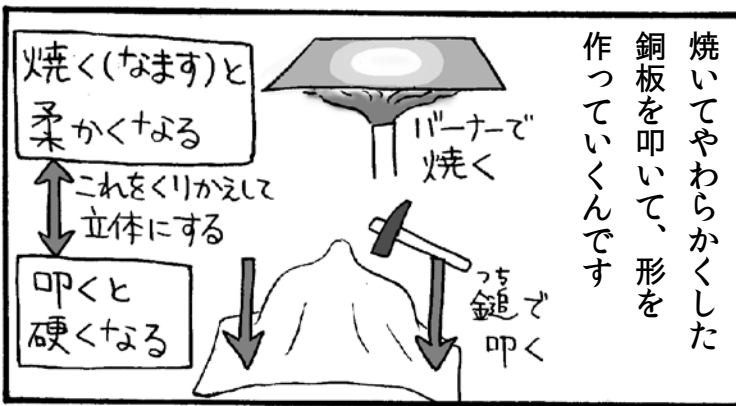


自分で直したり作ったりしています

槌

当て金

当て金といつしよに使うんですが仕事のたびに必要な形が違います



焼く(なます)と柔らかくなる

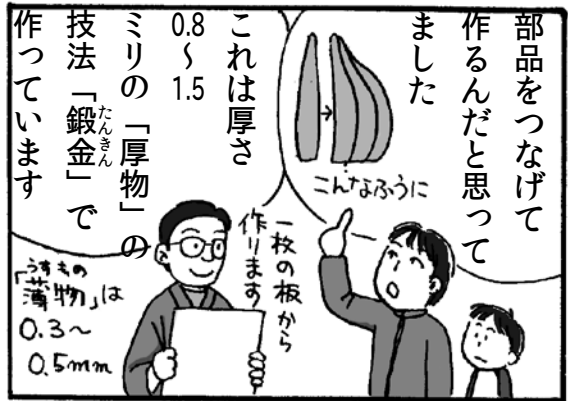
これをくりかえして立体にする

叩くと硬くなる

バーナーで焼く

つち金で叩く

焼いてやわらかくした銅板を叩いて、形を作っていくんです



部品をつなげて作るんだと思ってました
これは厚さ0.8〜1.5ミリの「厚物」の技法「鍛金」で作っています
一枚の板から作ります
「薄物」は0.3〜0.5mm

こんなふう

一枚の板から作ります



は
おもしろーい!!

叩いたところが輝いてきたでしょう？



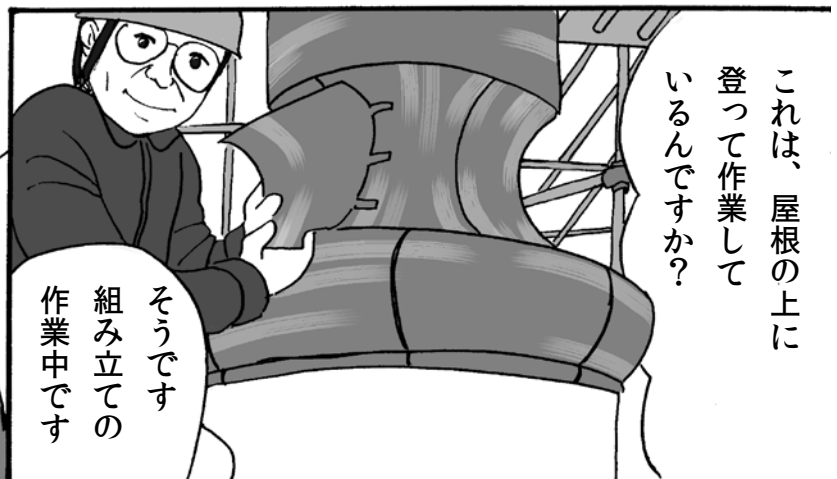
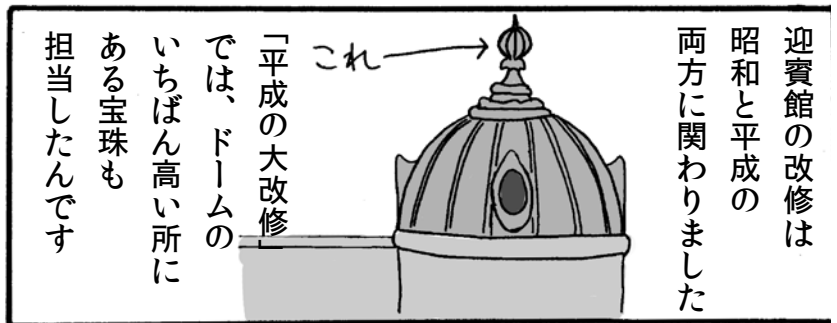
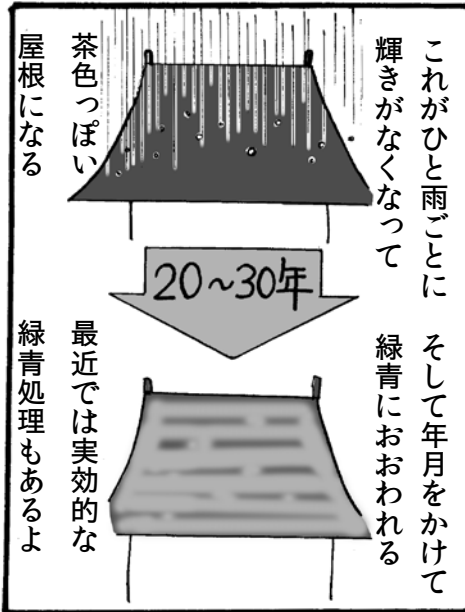
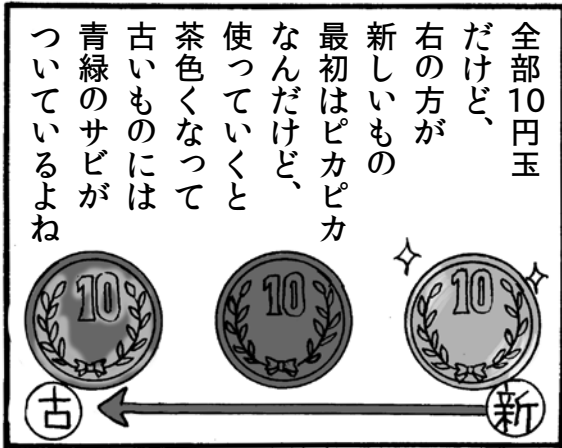
材料を薄くのぼして玉にするんですか？

のぼすんじゃないかと絞るんです

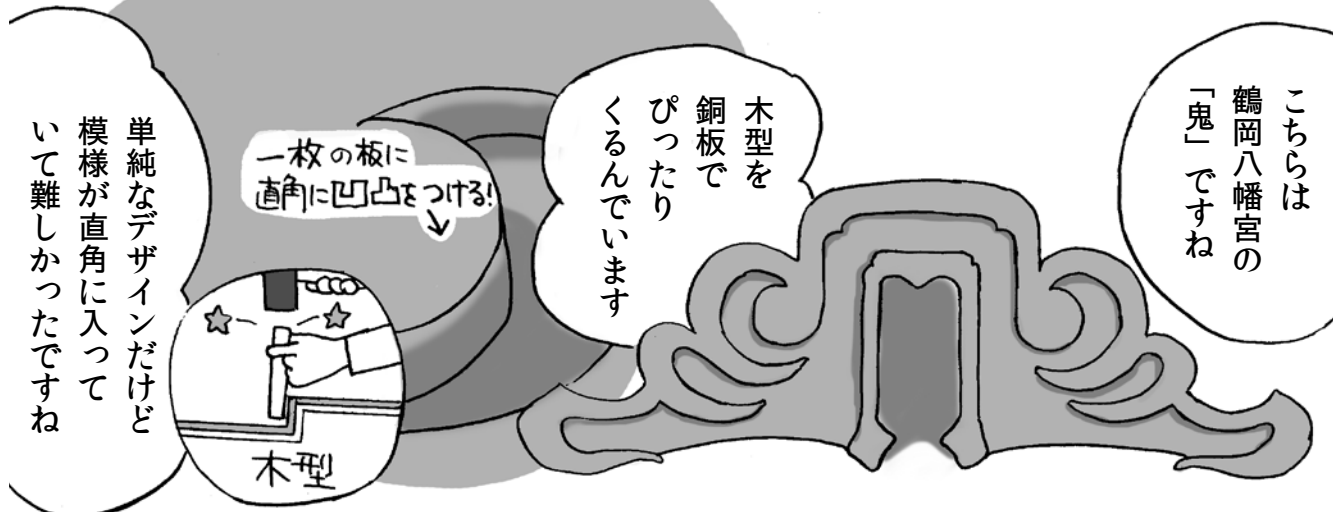
平らな板を立体にするとしわができる
これを叩いてうまっておさめるんです



適した金づちと当て金を選びながら、叩いていくと銅の輝きが戻ってきます



※迎賓館：赤坂迎賓館。外国の元首や首相など賓客の宿泊・接遇を行うための国の施設。明治期洋風建築の代表作の一つで、2009年に国宝に指定された。



こちらは
鶴岡八幡宮の
「鬼」ですね

木型を
銅板で
びったり
くるんでいます

一枚の板に
直角に凹凸をつける!

木型

単純なデザインだけど
模様が直角に入って
いて難しかったですね



古くから
受け継がれて
きた技術
なんでしょうね

ええ、

鍛金や彫金の技術は
千二百年以上前から
あったと考えられています

1200...



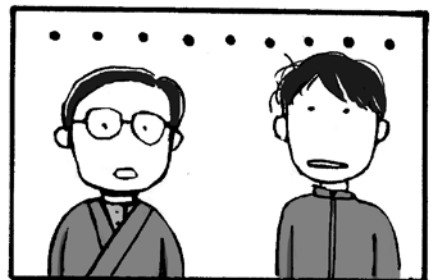
こういった細工はなかなか
できないから、鬼だけ
頼まれたんですよ

薄板が切れないよう
専用の道具を作った



そうか!

おじさんは
千二百年も
やってるから
上手なんだね



「上手」って
ほめてくれて
ありがとう

二千年、
三千年でも
技術が
伝わっていくよう、
がんばるね

ハハハ
もういきなり
何を言い出すんだ
か...
すみませ...
ん?

有限会社関戸

宝珠などを作る「鋳起」の技能をはじめ、伝統的な卓越した技術を発揮して、銅板屋根工事のすべてを芸術的に仕上げます。

- 住所／川崎市多摩区登戸新町 67-1
- 電話／044-922-5064
- ファックス／044-922-5064
- 営業時間／午前8時～午後5時
- 休み／日曜、祝日

※鶴岡八幡宮：神奈川県鎌倉市にある神社。源氏の守護神として、源頼朝によって現在の場所に移された。建造物の多くは国指定重要文化財である。